

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公開番号】特開2010-194160(P2010-194160A)

【公開日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2009-43989(P2009-43989)

【国際特許分類】

A 61 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 61 B 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日(2011.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

略青色光を発する複数のLED素子と、該複数のLED素子を覆い且つ該複数のLED素子の間に充填され、該複数のLED素子からの光により励起されて蛍光を発する蛍光物質とから構成され、被検眼に可視光を照明する照明手段と、

前記被検眼からの戻り光に基づいて該被検眼を撮像する撮像手段と、
を有することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項2】

前記複数のLED素子それは、青色光と該青色光より短波長の光とのうち少なくとも一方を発することを特徴とする請求項1に記載の眼科撮影装置。

【請求項3】

前記複数のLED素子は、複数の青色発光LED素子であり、

前記照明手段は、前記複数の青色発光LED素子の間に設けられた近赤外光を発する複数の赤外発光LED素子を有することを特徴とする請求項1あるいは2に記載的眼科撮影装置。

【請求項4】

前記蛍光物質は、前記複数の赤外発光LED素子を覆い、

前記複数の赤外発光LEDからの近赤外光は、前記蛍光物質を透過して前記被検眼に照明されることを特徴とする請求項3に記載的眼科撮影装置。

【請求項5】

前記照明手段は、発光方向と反対側に放熱のための放熱手段を有することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載的眼科撮影装置。

【請求項6】

前記複数のLED素子の光量を独立して制御する光量制御手段を有することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載的眼科撮影装置。

【請求項7】

前記光量制御手段は、前記複数のLED素子の光量のばらつきを補正するように該複数のLED素子の光量を独立して制御することを特徴とする請求項6に記載的眼科撮影装置。

。

【請求項8】

前記複数のLED素子は、略リング状に且つ離散的に配置されることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の眼科撮影装置。